



編集発行

特定非営利活動法人  
神於山保全くらぶ

連絡先

090-8577-3566

ホームページ

[kounoyama.jimdofree.com](http://kounoyama.jimdofree.com)

## カレンダー

月	日	曜日	作業内容・備考
7	1	土	丸紅の森
	2	日	土生町子供会クラフト 竹まつりカンカン
	4	火	自然観察会（植物）
	6	木	運営会議
	8	土	桜台（常磐）地区子ども工作教室③ フクロウ・ムササビチーム
	9	日	定例活動日
	11	火	自然観察会（鳥）
	12	水	水辺チーム
	15	土	丘陵の森
	16	日	令和5年度里山ボランティア育成入門講座②
	17	月	クラフト勉強会
	19	水	定例活動日 *1
	22	土	定例活動日
	23	日	里山えんぴつ
	25	火	自然観察会（植物）
	30	日	阪急子供カレッジ里山体験
8	4	金	教員初任者研修
	5	土	丸紅の森 ナイトハイク
	6	日	きしわだ自然資料館観察・講演会
	9	水	水辺チーム
	10	木	運営会議
	11	金・祝	きしわだ自然資料館工作教室
	12	土	桜台（常磐）地区子ども工作教室④ フクロウ・ムササビチーム
	13	日	定例活動日
	16	水	定例活動日 *1
	19	土	丘陵の森 浜公園夏休み工作
	20	日	令和5年度里山ボランティア育成入門講座③
	21	月	クラフト勉強会
	26	土	定例活動日
	27	日	里山えんぴつ
9	2	土	丸紅の森
	5	火	自然観察会（植物）
	7	木	運営会議
	9	土	桜台（常磐）地区子ども工作教室⑤ フクロウ・ムササビチーム
	10	日	定例活動日

\*1 今年度から、第3水曜日も「定例活動日」とします。

## 2023（令和5）年度 通常総会が開催されました

5月27日（土曜）、今年初めてのササユリの開花が確認されたこの日の午後、NPO法第14条の7の規定に基づき、作業小屋にて正会員95名のうち出席者64名（うち委任状出席者数23名）で開催されました。

冒頭、御来賓の岸和田市市民環境部谷口部長様からご祝辞をいただきました。

議案は、1号議案～6号議案まで、討議のうえ、すべての議案につき全会一致の賛成を得、可決されました。



これを受け5月28日に理事会を開き新理事長に田口雅士氏が就任されることになりました。

### 記

1. 就任：理事長 田口 雅士（たぐち まさし）

1. 就任日：2023（令和5）年5月28日

5月29日、堺法務局で登記済、6月2日に所轄庁である岸和田市へ役員変更届及び事業報告書等を提出、その他関係諸官庁への届けも終えて、年度初めの諸手続きはすべて完了しました。

←改めて会員の皆様へ→

### 新旧理事長ご挨拶

#### ☆理事長退任の挨拶

山根 久子

ホトトギスの声がすぐそこに聞こえる時節となりました。

神於山保全クラブの会員・賛助会員のみなさま、代表理事就任中は多方面で支援していただき、ありがとうございました。引き受けたときの条件である「期限付き・名ばかり理事長」がコロナと夫の介護で実際となり、本当に心残りです。しかし、在任中の2年間、多くの方々が保全活動・チーム活動を継続し、安全に山を歩けるように標識をつけるなどの作業をされ、また、他団体との交流も図られ、多くの成果を上げられましたことに、深く敬意を表します。

そして、保全クラブが新理事長をはじめ、理事や運営委員・会員の方々の努力で、ますます活動が発展することを願っています。

どうぞ、事故なく楽しく活動が続きますように！

#### ☆理事長を引き受けて

田口 雅士

1999年6月第1回里山ボランティア育成入門講座を受講してから20数年、いよいよこの役が巡ってきました。

これまでみんなでワイワイ言いながら楽しくやって来れたので、今後も皆さんと楽しく元気に活動を続けることができると思っています。そして活動が100年以上続くことを願っております。

多くの方が活動に参加し、たくさんの方が山にやってくるようになりました。新たな課題も生まれていますので、関係する多くの方々と相談しながら、一つ一つ解決・具体化できたらと思っております。

これまでの理事長、相良さん、金児さん、山根さんを見習いながらやっていきます。

よろしく願い申し上げます。

## 7・8月の活動予定

梅雨入りと同時に大雨が!!と書いていたら、晴天で“真夏日”となる日が続き、先が思いやられるようです。高齢者が多いので、休憩を頻繁にとり、無理のない作業を心がけて行きます。7・8月は園路・管理地区に草が繁茂しているので草刈りが主な作業となります。ネザサとイネ科の草が実をつける前に刈り取りたいものです。各園路の倒木、落ち枝、園路の“きわ”の明確化の処置も合わせて行います。

山頂および付近の「まごの森」「修斉の森」「源流の森」の再整備の計画立案、実作業に取りかかります。「丸紅の森」については、7月は管理竹林、8月は管理竹林周りの整備を予定しています。

## 当面のイベント・体験活動

### 7月

1日(土)と2日(日)に「岸和田カンカン」にて“ちくのわのワークショップ”(ミニ竹まつり)があります。2日(日)に“竹の魚つり”と“竹の輪投げ”で参加します。

2日(日)には土生町会館にて、“土生町子ども会”の工作教室があり“森のえんぴつ”と“テーブルランタン”を作ります。

30日(日)には、“2023夏「HANKYU こどもカレッジ」”の校外学習が神於山にておこなわれます。阪急百貨店が主催し15組の家族を募集し、9時から3時まで神於山で体験活動を行ないます。

### 8月

4日(金)教員初任者研修が久しぶりに神於山で開かれます。新任の先生43名が3つのグループ“ハンモックづくり・山頂までの観察会・クラフト”に分かれ1日体験活動を行ないます。

5日(土)日中は、丸紅の森活動ですが、夜、**ナイトハイキング**を行ないます。内容は昨年と同様です。**18時15分・愛彩ランドバス停前集合**です。今年は、“里山えんぴつ”のメンバーも参加し、盛り上がると思います。20時半には愛彩ランドにもどります。

6日(日)自然資料館主催の“岸和田の里山・神於山を知ろう!”という観察会と講演会の企画です。(広報7月号参照)

午前は講演会で講師をされる京都大学名誉教授の湯本貴和氏の説明(保全くらぶ同行)で神於山を歩きます。(9:00:~12:00)

午後は自然資料館にて湯本先生の講演が行われます。(14:00~16:00)

11日(金)㊦山の日、自然資料館にて“山の日ラボ”の企画として10時30分~11時15分・11時30分~12時15分の間、「神於山の自然で工作しよう!」のテーマで工作教室を行ないます。

19日(土)公園緑化協会主催の“夏休み工作教室”を浜工業公園で午前10時から12時まで行ないます(市広報7月号参照)。以前作ったことのある“風で走るワリバシカー”を作ります。

その他、通常の活動と重なる日もありますが、暑さ・お盆は関係なく活動は行ないますので、ご協力よろしくお願ひします。

## 丘陵地区の動き

当面のイベントのところでもふれましたが、7月1日(土)~2日(日)と岸和田カンカンにて“ミニ竹まつり”が開催されます。また、第2回“竹まつり”は、11月26日(日)に開催されることが決まりました。

“未来の宝応援プロジェクト”の活動日、毎月第1土曜・第3土曜や神於山保全くらぶの“丘陵の森”活動日(毎月第3土曜日)を“竹の輪(ちくのわ)”のメンバーや市民が森づくり活動に参加できるような場として呼びかけたいと思います。6月の“丘陵の森”の日に1名様が参加したいと連絡がありました(当日体調を崩され欠席)。

丘陵アドプト活動は6月16日(金)にカナエさん、17日(土)アストラゼネカさん、23日(金)平田タイルさんの活動がありました。7月・8月はいずれの企業さんも夏休みとなります。

ササユリが、平田タイルさんと元住友ファーマさんの間に3株、住友ファーマさんのところに4株開花しました。

# 令和5年度 里山ボランティア育成入門講座はじまる！

6月11日（日）

令和5年度里山ボランティア育成入門育成講座の第1回が6月11日（日）に開講されました。老若男女20人（男性8人、女性12人）の応募がありました。今回女性が多いです。前回同様、若い応募者の50代以下が10人（男性5人女性5人）と半数を占めました。又、ご高齢者層では、81歳（女性）80歳（男性）が元気に林道を登られましたので一安心でした。

当日はあいにくの雨でしたが、17人が参加され、作業小屋まで徒歩で向かいました。

午前 開講式：新理事長、田口氏の開講あいさつを皮切りに岸和田市環境保全課長重田様の挨拶、講座受講の内容や注意事項、受講者の自己紹介、オリエンテーション。

講義：「里山および里山保全活動について」

里山とはどんな山をいうのか・里山保全活動とはなにか・ボランティア活動として取り組む意味について知ってもらいました。

※昼食後、雨が止み作業小屋の屋根下から外へ出て。

午後 講義：「里山の生態系を考える」

Wood・木・樹の森の藤尾池中心にしたコースを歩き、  
（作業小屋→藤尾池西・堤→国見の森広場→林道→新駐車場→作業小屋）

里山の生態系を考えた神於山での取り組みを知ってもらいました。

受講者の感想を聞くと、おもしろいとの意見が多くありました。

注：今年度より講座の進行を奥田さん「司会&渉外担当」、兵埜さん「受講者案内担当」と野口「講座内容調整」の3人で講座進行を進めていくことになりました。今後ともよろしくお願いいたします。

（野口）

## これからの里ボラ講座の開催日程と講義内容

第2回	7月18日 （日）	午 前	10時00分～12時00分	講義3（危険な動植物と安全対策）	
		2時間	里山保全活動を安全に行う基本知識の習得。		
		午 後	13時00分～15時00分	講義4（神於山の動植物）歩く（作業小屋→	
		2時間	藤尾池堤→3号園路尾根→4号園路→山頂→作業小屋）まとめ（感想）		
第3回	8月20日 （日）	午 前	10時00分～12時00分	講義5（竹林の管理）活動体験（竹を切る）	
		2時間	実習（竹ノコギリで竹を切り、幹の玉切と枝払いを体験学習する）。		
		午 後	13時00分～15時00分	講義6（竹をハンモックやクラフト材料に）	
		2時間	実習（竹による工作物を作り完成品に試乗）。まとめ（感想）		

## 源流の森活動 6月4日（日）

午前、ボーイスカウト岸和田4団・5団と共に、オオクス広場周辺の草刈り、“ナラエモンへの坂道”の補修等おこないました。“ナラエモン”周辺に植えた木やイボタ・ウツギも大きくなっています。除伐、枝打ちの時期です。秋の課題です。



この活動も10年となりました。これまでの植生の変化を見ながら整備計画を考える必要があります。

ササユリが4号園路オオクスわきに一輪咲いていました。

（田口）





## 環境フェア 6月4日(日)

今年も ラパークのキッズプラザで開催されました。  
展示中心で 少し寂しい気がしましたが 大きな地図とカヤネズミの  
人形に呼び寄せられて 沢山の方が 来てくれました。  
子供たちは カヤネズミに釘付け、  
大人の方は ささゆりに興味津々でした。  
道の駅も近く バスの便もあり とても身近な里山なので どうぞ  
山へ！！とお誘いしました。  
山に来て 自然に触れて 自然の大切さを感じてほしいです。(都田弘美)



## 子ども工作教室5・6月(桜台市民センター)

今年度も15名で1年間の工作教室スタート。5月初回は「名札とマイ工作台作り」からです。昨年度に比べて子どもたちが少しおとなしい感じがしたのですが、まだ慣れていなかっただけでしだいによくおしゃべりするようになりました。名札作りもそれぞれにこだわりがあり、「漢字で描きたい」「材料はひもを使いたい」「ピンで留めるのはいやなので首からつるしたい」等思い思いにがんばりました。個性が出てOKでしょう。

6月は季節に合ったササユリです。花びらの紙をカーブさせたりと、得意、不得意の差がでましたが、写真を見て色付けの濃淡などががんばりました。できあがってみると、全体的に雰囲気十分にでて、桜台市民センターでもササユリの花が満開となりました。(杉原)



## ササユリ調べ 6月11日

雨の降る中、腰の丈以上に伸びたネザサの中に入っただけの調査は、正直『イヤヤなあ…!』としぶし出発。急峻な所もあり、すべらない様に気をつけながら進みました。

ネザサの中のササユリは咲いてないと見つけれられません。この日を逃して調査はできないと思い、頑張って進めました。

結果は下記のとおりです。他に見られた方はお知らせください。

見晴らし台下	1本	丸紅の森	10本
見晴らし台	1本	ならえもん	なし
小屋 ⇄ 基地(水平道)	4本	大楠横	1本
基地の中	1本	一号園路より上の林の中	7本
基地横	1本	* (基地の中のササユリ畑は含まず)	

(宮脇)

## ガールスカウトの森活動 6月18日(日)

子供16人、大人13人と保全くらぶ6名で活動。

10時すぎ作業小屋に集合、まず“森”の草刈りをしました。メインツリーの“クリ”が枯れており“クヌギ”に植え替え。ネザサはあまり大きくなっておらず、30分ほどで終了。

その後、竹ハンモック作り、基地で竹1本を倒し、みんなで広場に運び、90cmに玉切、割って・編んでの一連の作業をして、みんなで試乗。

午後は、1本ブランコ、丸太わりなどフリータイムで楽しみ、3時に下山しました。(田口)

## 第3回きしわだ森づくり生きもの交流会

6月15日(木)13:30より桜台市民センター会議室への参加とZoomでのリモート会議参加によるハイブリット会議を開催しました。

神於山・丘陵・蜻蛉池公園の各地区で活動している企業4社(8社中)団体5団体(6団体中)及び関係官庁の府1・市5部署と、きしわだ自然資料館の計16団体が参加されました。

あいさつ、参加者紹介、前回の報告に続き当日のメイン報告「竹林管理を20年して見えてきたこと、今後の課題」を当くらぶ田口氏より発表しました。

次に、丘陵地区で真竹の“竹枯れ”が見られたことから“竹枯れ”について、自然資料館の岡本館長より解説頂きました。さらに、フクロウ、昆虫について資料館の風間氏、平田氏より報告を受けました。

また、丘陵地区の動向、今後について府・市より報告がありました。情報交換では、各団体の発言が少なかったことを受けて、今後は事前に発言依頼をすべきと反省しました。



今回は、11月中旬に活動地見学を予定しています。なお、交流会の録画映像見たい方は事務局上林までご連絡下さい(井阪)

## 5・6月の活動(作業)

2日ほど雨の日があり、多少作業予定を変更したところもありましたが、概ね計画どおりに作業ができました。丘陵地区での作業も順調にこなせました。

### ○定例活動

・5月14日(日)

朝から雨で、まとまった作業ができないと判断して、午前は“タゴカエル”の卵・鳴き声調査と道具整備を行いました。カエル調査は3グループに分かれて、それぞれのルートで卵が見られた場所、鳴き声が聞こえた位置を活動エリア地図に記録しました。1週間程前には、卵が多くの場所で観察されましたが、孵化してしまったのか少なかったです。(雨で水量が増して流されたのかも・・・)午後は、作業小屋周辺の草刈を行いました。

また、炭焼きチームは今期前半最後の炭焼きを行うべく、炭材の入れ替えを終日行いました。

・ 5月17日（水）（旧平日活動日）

山頂展望確保のために、「まごの森」のサクラの上部の枝と管理車道より展望台に至る階段路東側のサクラの大きな枝を伐採しました。また、車道より展望台に至る園路（「まごの森」東側）に両側より張り出し園路を暗くしている枝も伐採しました。

伐採したサクラの大きな枝が立木に引っかかり、取り除くのにあれやこれやと皆で言って取り掛かったところ、2か所を切断したところ、どうにか落ちて一件落着でした。



・ 5月27日（土）

午後から総会なので、作業は午前中のみでした。前回（5/17）に「まごの森」のサクラの太い枝を伐採した際に、園路の手摺・支柱を壊してしまったので、手直ししました。次回の活動日が“里山ボランティア講座”の第1回と重複するため、会員の活動拠点の基地の整理・整備を行いました。また、午後の総会に向けた準備・会場設営と周辺の草刈も行いました。

・ 6月11日（日）

園路の倒木3箇所（1号園路・3号園路・「修斉の森」よりY字で林道に至る園路）の処理を木こり部隊（炭焼きチーム）にて行いました。1号園路とY字園路の倒木は手間取らずに処理できましたが、3号園路の倒木は立木に寄りかかっており、雨中での作業が危険なので、後日の実施としました。

ササユリの開花状況調査を女性陣主体で行いました（5頁のササユリ調査参照）。やはり、こまめな手入れが必要なことを再認識しました。また、藤尾池堤の草刈も行いました。（アサギマダラのため、ヒヨドリバナは残しました。

・ 6月21日（水）（旧平日活動日）

大エノキ広場から小駐車場間の林道の草刈とツル取りを行いました。背丈程繁っていた笹竹を刈り払機で処理し、ハゼの木に幕のように絡まっていたツルを1本ずつ根気良く取り除きました。終わってみれば、林道の両側が見違えるほどスッキリしました。シイタケチームが次回に実施の榎木入れ替えのために、古い朽ちた榎木を竹林内のビートルベッドに投入すべくベッドの周囲を補強しました。

・ 6月24日（土）

3号園路の倒木処理を木こり部隊にて行いました。処理手順・安全確保をチーム内で事前検討しての処理で、手際よく実施されました。頼もしいかぎりです。

ササユリ畑と藤尾池間の園路沿いの柵を更新しました【写真】合わせて、勾配の急な園路部分をなだらかに手直ししました。

今年菌打ちしたシイタケ榎木50本をシイタケ畑に入れ、古い榎木を管理竹林内のビートルベッドに粉碎して投入しました。古い榎木にクワガタムシのサナギとカブトムシの幼虫が見つかり【写真】、手伝っていた男の子が大事に持ち帰りました。





## ○丸紅の森活動

### ・ 5月6日（土）

午前は全エリア内の幼竹のチェックと伐採をしました。午後は避難小屋横に侵入していた竹を伐採し、小屋東側通路の柵の手直しの材料としました。

### ・ 6月3日（土）

この日の活動は管理車道下のエリアで、午前は草刈りを行いました。午後は斜面の通路のサクラ大きな折れた枝を切断処理しました。切った大きな枝が横の立ち木に引っ掛かったため、高枝切りでの中途半端な高さでの作業となり、4人で交替しながら悪戦苦闘の末やっと取り除くことができました。終わった時に4人はその場に座り込みました。

## チーム活動報告

### □ 植物・鳥チーム

月日（火）	参加者数（うち会員外）	記 事
5月2日	6名（1名）	意賀美神社から林道を歩く。マルバウツギが満開で、ツリバナも開花。
5月9日	9名（1名）	22種の鳥を確認。サンコウチョウ、キビタキ、の夏鳥は、声を確認。
5月23日	8名（2名）	アワブキ・クマノミズキが咲き始める。鳥を20種確認。
6月6日	4名（1名）	林道を進む。ムラサキニガナ・オカトラノオが咲き始める。
6月13日	8名	16種の鳥を確認できたが茂った葉で視認困難。キヌガサタケを池堤で発見
6月27日	8名（2名）	3号園路で、スズサイコやコ克蘭を見て、5号園路と林道でオオバノトンボソウを1株ずつ確認

樹木の花は、どれも今年は元気でたくさん開花。

今後の予定は1頁のカレンダーを参照ください。 なお、8月は暑さのため活動を休止します。

（山根）

〈鳥観察〉この時期はうつくしい鳴き声のオオルリ、キビタキ、サンコウチョウ等、夏鳥が飛来するのですが、茂った若葉に姿が隠れてしまい、なかなか見つけることができません。6月は巣立ちの時期で、シジュウカラ、コゲラの幼鳥に出会え、しっかりと観察することが出来ました。成鳥と違い羽根の色が薄くボサボサで、顔もあどけなく、鳴き声も少し違います。「シャープの森」付近でメジロの大群を観察中に、近くの林からフクロウの幼鳥らしき2羽が飛び立つのを見ました。

観察日以外では、ホトトギス、センダイムシクイ、キビタキ、オオルリを見る事ができました。（井阪やすよ）

### □ 炭焼きチーム

3月の炭焼きはいつもの様な温度上昇では無かったので、出来具合がどうなのかが心配でした。しかし、結果は歩留まりが良く多くの量で、重くしっかりしたいい炭が出来ていました。

5月の炭焼きはそれを参考に空気調整をし、これまでの最長時間、火曜の昼に窯を閉じました。今回もさらに良い炭が出来ていると思われます。

今シーズンの炭焼きは終わり、秋ごろから炭焼きを再開します。

【活動報告】 5/14(日) 炭窯の入れ替え作業(炭→炭材)。炭の出来具合に感激。

5/27(土) 8時に集合し火入れ。(30日(火)13時窯を閉じる【最長記録】)

6/11(日) 木こり隊として園路の倒木を撤去。一ヶ所は危険なため次回に。午後は炭切り作業。

6/24(土) 前回残った3号園路の倒木処理。杉の掛かり木1本と倒木1本を処理。安全第一で作業を行う。午後は炭切り作業他。

【活動予定】 7月・8月 ・炭焼きの季節は終わりましたので、整理・整備作業を行います。

（村瀬）



## □ クラフトチーム

5月は 'カレースプーン' を作りました。なるべく肉厚の竹を割り削り出すだけですが先の揃う部分のカーブの掘り方、柄の部分の柔らかいカーブの出し方等中々微妙な作業が続きますが流石に皆さん、動じること無く2本目、3本目と欲を出される方も。

ただ実際に使えるかな～ 竹の木地にカレーの色、染みこんで抜けないかも。

気にしない、カレースプーン、カレー専用！ 納得。

6月は7月に続く体験活動(子供工作)に必要な道具を用意しました。魚釣り用の竿と竹魚、輪投げ竹、笛細工に使う篠竹採取とかです。子供たち(親御さんも)が自然の中での遊びに楽しみをもっともって覚えてくれたら良いですね。(まつだ)

## □ 水辺チーム

5月は、昨年同様カエルの生息状況の確認を行いました。まず我々の目(耳)に飛び込んできたのは水面を叩く強い音でした。なんと50cmを超える鯉が数匹岸辺近く見受けられ産卵の為か絡み合っていました。

藤尾池で鯉をみるのは初めてで驚きです。その後は、林道途中の砂防ダムでシュレーゲルアオガエルの声と共に卵を見つけました。全くの初めてで万歳です！ タゴガエルはシャープ下の谷筋、大谷ダム、4号園路で鳴き声を聞き、4号園路では卵も沢山確認出来、孵化が楽しみです。(まつだ)

5月第二日曜の定例活動日、4号園路でお腹に卵を抱えたタゴガエルの死骸を複数、孵化したオタマジャクシも確認。徐々に鳴き声も聞こえなくなる。6月に入り、卵もオタマジャクシも全く確認できなくなるが、チーム活動日には2号園路や3号園路で今年生まれらしきカエルを数匹確認。5月にシュレーゲルアオガエルの卵を確認した場所では複数のオタマジャクシも確認できた！(上林)

## □ フクロウ・ムササビチーム

### フクロウ・ムササビ観察会日程(目標)

以下の通り年2回(9月、12月)巣箱設置した場所を巡り、その周辺の生き物のフィールドサインを探しに行きます。条件があえば、巣箱に入るヒナをトレイルカメラで見れるかもしれません。参加呼びかけは一般の方、や子供たちを中心に実施する予定です。

月	日	曜日	フクロウ観察	ムササビ観察	活 動 計 画	備考
9	9	土	○	○	フィールドサインの観察会①	
12	9	土	○	○	フィールドサインの観察会②	

ムササビの生殖は6月と12月の2回です。75日で出産するので9月と3月に巣箱の窓から子供が顔をのぞかせてくれることを期待しています。

フクロウは、3月にシャープの森の巣箱に営巣する可能性が高いので、少し、静かに見守りたいので観察会は実施しませんが、要望があれば、勉強会を屋内環境(公民館等)で行うことを考えています。

実施にあたっては以下の通りの課題を解決することが必要なため他団体との共同連携を検討しています。

## 課題

何か所の巣箱設置を観察対象にするか。

フィールドサイン観察の内容はどうするか

参加呼びかけの方法はどうするか

他団体との共同連携 フクロウ・ムササビの生息状況は、他の団体等との情報交換が不可欠であります。特に、フクロウの生息状況に精通している岸和田自然博物館やシャープの森と連携が必要不可欠です。

以上、フクロウ・ムササビチームは、観察会（目標）実現のため、7月、8月を準備期間としていきます。保全くらぶの会員の皆様の応援よろしく申し上げます。



フクロウ・ムササビチーム 野口 一

### － シリーズ －

## 神於山と私

横田 直樹

神於山とは8年前に出会いました。

ランニング中に、登山口の看板を見つけました。試しに登ってみて、山頂から愛彩ランド側に抜けることを知りました。それからは、ランニングの練習で登るようになりました。

自宅を出発し、久米田池から包近の桃山を通り、蜻蛉池公園を經由して神於山山頂へ走ります。往復で約20kmほどです。シャープの森あたりの激坂は、なかなかハードです。おかげさまで、脚力が向上して上位入賞できました。

昨年、広報で里山ボランティア募集を見ました。最後まで参加を迷って、募集最終日に応募したのを覚えています。

この講座に参加しなければ、知らなかったことや体験できなかったことばかりでノコギリで木を切るのはしんどかったのですが、楽しく参加できました。また、動き始めると、すぐにお腹が減るのでお弁当の時間が待ち遠しかったです。

今は、山に来て体を動かすことが楽しみになっています。山で竹を切り、木を伐り、草を刈り、そして炭焼きをするとは、まったく想像していませんでした。

炭焼きチームでは、やさしい親方とやさしい先輩方のやさしいご指導のもと「攻める炭焼き」を経験しております。煙突の調整での攻めるかどうかのやりとりがおもしろいですね。これまで経験したことのない山での活動を楽しんでいます。

竹まつりのイベントにも参加して、竹のさかな釣りは発想がユニークで、子供達が楽しんでいる姿を見れて良かったです。今後も、イベントには参加したいです。

あと、総会で話のあった春木川河口から神於山までのウォーキングは楽しいと思います。ぜひ、だれもが参加できる方法で実行できればと思います。

最後に この里山ボランティアが今後も受け継がれて継続していく助力になればと思っています。その為に安全第一で活動します。活動を始めたばかりの「里山ボランティア1年生」です。先輩方のご指導をよろしくお願いします。

# 活動の記録(5・6月)

## 5月

2日(火)	植物・鳥チーム	5名
6日(土)	丸紅の森	13名
10日(水)	水辺チーム (シュレゲル・タゴガエル調査)	6名
11日(木)	運営会議	14名
12日(水)	丘陵アドプト・平田タイル	3名
13日(木)	フクロウ・ムササビチーム 桜台子ども工作①	3名 8名
14日(日)	定例活動日	24名
15日(月)	クラフト勉強会	9名
17日(水)	定例活動日	9名
19日(金)	丘陵アドプト・カナエ中止 桜台婦人学級館まつり展示打合せ	2名
20日(土)	丘陵の森 役員変更手続き	8名 1名
21日(日)	丘陵アドプト・アストラゼネカ	4名
23日(火)	植物・鳥チーム	7名
24日(水)	阪急子供カレッジ	2名
26日(金)	交流会打合せ	6名
27日(土)	定例活動日・総会 丘陵アドプト・住友ファーマ	45名
28日(日)	里山えんぴつサポート	2名
29日(月)	役員変更手続き	1名

## 6月

1日(木)	役員変更手続き	1名
2日(金)	里ボラ申し込み 役員変更手続き	3名 1名
3日(土)	丸紅の森	6名
4日(日)	源流の森 環境フェア	10名 3名
6日(火)	植物・鳥チーム 交流会打合せ (Zoom)	4名+1 4名
8日(木)	竹枯実態調査 運営会議	1名 13名
10日(土)	桜台子ども工作② 交流会リハーサル	7名 6名
11日(日)	定例活動日・里ボラ講座①	23名
13日(火)	植物・鳥チーム	7名
14日(水)	水辺チーム	4名
15日(木)	第3回きしわだ森づくり交流会	10名
16日(金)	丘陵アドプト・カナエ	4名
17日(土)	丘陵の森 丘陵アドプト・アストラゼネカ	6名 2名
18日(日)	ガール体験活動	5名
19日(月)	クラフト勉強会	15名
21日(水)	定例活動日	12名
23日(金)	丘陵アドプト・平田タイル	3名
24日(土)	定例活動日	43名
25日(日)	里山えんぴつサポート	4名
27日(火)	植物・鳥チーム	8名+2